

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	4月1日(火)	第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム	土木学会	3号6 ページ参照
	4月19日(土)	東名高速道路見学会	東京一 名古屋間	3号4 "
	5月30日(金)	第55回通常総会	東京	3号2 "
	7月15日(火) ～16日(水)	第10回地震工学研究発表会	土木学会	3号5 "
	9月26日(金) ～28日(日)	全国大会・第24回年次学術講演会	東京	3号2 "
関東支部	3月26日(水)	見学会	東京	2号6 "
	4月26日(土)	支部総会	同	3号7 "
中部支部	4月26日(土)	支部総会	名古屋市	3号7 "
関西支部	3月18日(火) ～19日(水)	工程管理に関する講習会	大阪市	2号7 "
	3月18日(火)	若い会員懇親パーティ(第3回)	同	2号8 "
	5月11日(日)	関西支部年次学術講演会	神戸市	3号7 "
そ の 他	3月27日(木)	第14回材料強度と破壊国内総合シンポジウム	東京	2号9 "
	6月5日(木) ～6日(金)	第7回接着研究発表会	同	3号8 "
お 知 ら せ	■土木学会論文集名称変更			2号2 "
	■「土木学会誌」広告料金改訂について			3号4 "
	■国際会議のお知らせ			3号8 "

評 議 員 選 挙 告 示

昭和44年度評議員選挙を各支部ごとに4月末日までに執行いたします。

各支部の評議員定数は、44年1月31日現在の所属会員数(規則第18条により)に比例、按分した結果つぎのとおり。

支 部	北海道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
評議員定数	6	6	40	12	23	6	7	100

理事ならびに監事選挙告示

昭和44年度理事ならびに監事の選挙を44年4月末日までに執行いたします。

昭和44年度論文報告集予約申込みについて

◀ 申込締切 4月15日 ▶

昭和44年度論文報告集(44年4月～45年3月)の予約申込みを行ないますので、ご希望の方は年間購読料1000円(外地の場合は6ドル)を添えて、4月15日までに申込み下さい。従来購読されておられる方もお忘れなくお申込み下さい。

第 55 回通常総会開催のお知らせ

昭和 44 年の通常総会は、つぎの日程で東京都において開催いたします。総会后、特別講演、映画、懇親会がありますから、多数ご参加下さい。

1. 日 時：昭和 44 年 5 月 30 日（金） 13.30～18.00
2. 場 所：麹町会館 1 階大ホール A（東京都千代田区平河町 2-6,
地下鉄赤坂見付下車 5 分）
3. 次 第：

総 会；事業報告
決算報告
名誉会員推挙
土木学会賞の授与
新役員の紹介

特別講演；(15.00～15.45)

海外進出と土木技術者

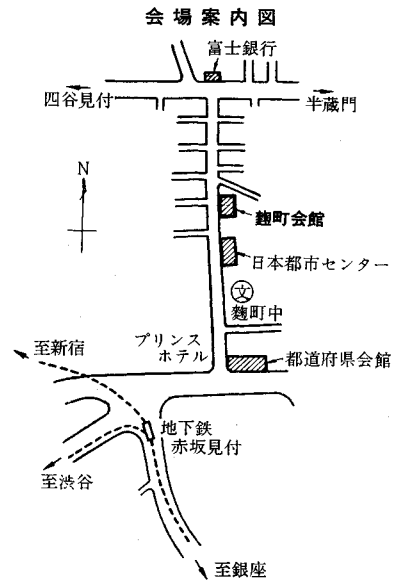
日本工営株式会社 社長 久保田 豊

映 画；(15.50～17.00)

礎、青函トンネル第 1 部（映画コンクール優秀作品）

懇 親 会；(17.00～18.00)

麹町会館 1 階大ホール B、会員の多数参加を希望します。会費 500 円、当日ご持参下さい。



土木学会昭和 44 年度全国大会・第 24 回年次学術講演会実施要領

土木学会第 24 回年次学術講演会は、昭和 44 年度全国大会学術講演会として、昭和 44 年 9 月 26 日（金）、27 日（土）、28 日（日）の 3 日間、東京都内において開催することになりました。

今回は、諸般の情勢から、会場は市街地ビルの会議室を使用します。ご不便な点もあることと存じますが、ご了承願います。

講演要領その他下記のように決まりましたので、講演希望者は期限までに講演申込（期限 5 月 10 日必着）ならびに講演概要の原稿提出（期限 6 月 10 日必着）をして下さい。

記

1. 実施期日：昭和 44 年 9 月 26 日（金）
27 日（土）
28 日（日）
2. 実施場所：麹町会館、日本都市センタービル、都道府県会館、砂防会館、全共連ビル その他（いずれも東京都千代田区平河町 2 丁目 地下鉄赤坂見付から徒歩 5～6 分）
3. 講演要領：
 - ① 講演時間：講演時間は、1 題あたり約 15 分間（質疑討論・交代時間を含む）とします。
 - ② 発表方式：研究論文は各部門とも、個人発表または総括報告形式として発表します。
個人発表は、原則として 1 題ごとに質疑討論を行ないます。
総括報告方式では、同じ種別の論文数編ずつを、総括報告者がまとめて報告し、その後に各著者の発表ならびに質疑討論を行ないます。
 - ③ 方式の決定：個人発表とするか総括報告形式とするかは、各自の希望を参考に学会で決定し、学会誌 7 月号に掲載します。

- ④ 講演部門：講演部門は、つぎの4部門に分けます。
 第I部門：応用力学，構造力学，橋梁など
 第II部門：水理，水文，河川，港湾，海岸，発電水力，衛生など
 第III部門：土質，基礎，土木機械，施工，トンネルなど
 第IV部門：道路，鉄道，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，交通，測量など
- ⑤ 講演概要：講演概要を作成し，あらかじめ希望者に頒布します。
- ⑥ 掛図・スライド：掛図の使用は会場の関係で著しく困難でありますので，スライドを使用して下さい。大きさは35mmに限りませんが，カラーでもモノクロームでもさしつかえありません（学会誌43年7月号講座：スライドのつくり方・使い方を参照）。希望者には学会で適当な業者をご紹介します。

4. 講演申込：

- ① 講演者の資格：講演者は個人の土木学会会員に限ります。連名者は非会員でもさしつかえありません。
- ② 講演内容：原則として未発表のものに限ります。
- ③ 1人1題：全部門を通じて，講演者1人1題に限ります。
- ④ 申込カード：所定の申込カードを使用して下さい。申込カードは各支部に準備してありますから，所属支部へ請求して下さい。
- ⑤ 申込期限：5月10日（土）必着のこと。期限後到着のものは受理できません。
- ⑥ 申込あて先：下記へ直送して下さい。

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会関東支部内 全国大会講演係

5. 講演概要原稿：

- ① 概要の目的：講演概要は，聴講者に内容を徹底させ，あわせて講演時間を短くし，かつ来聴できない会員に講演内容を速報するために作成します。
- ② 内 容：講演概要は，一般会員がこれによって十分理解できるよう，研究の考え方と結論をわかりやすく書いて下さい。
- ③ ページ数：原稿の長さは，原則として2ページとします。超過する場合は4ページとします。3ページのものや4ページを超えるものは受けません。
- ④ 原稿用紙：原稿をそのまま縮写してオフセット印刷としますので 所定の原稿用紙を用いて下さい。原稿用紙は執筆要領とともに各支部に準備してありますから，所属支部へ請求して下さい。
- ⑤ 提出期限：6月10日（火）必着のこと。期限までに原稿提出のないものは講演申込みを取消します。
- ⑥ 提出あて先：下記へ直送して下さい。

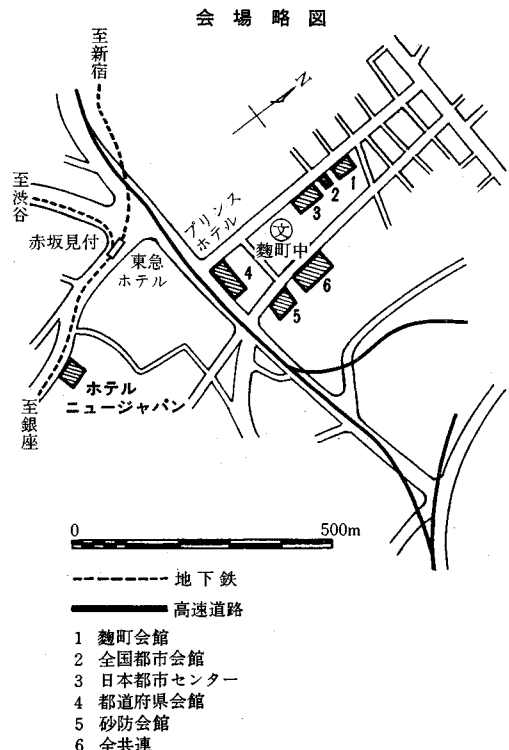
〒160 東京都新宿区四谷1丁目
 土木学会関東支部内 全国大会講演係

6. 講演概要集頒布：

講演概要集は，すべて有料とし，無料交付はしません。学会誌7月号とじ込み予定の購入申込書によってお申込み下さい（申込期限8月20日予定，送本8月末予定）講演者（連名者を除く）には各自の原稿の別刷30部を贈呈しますが，特別の増刷はいたしません。

7. 講演申込者へお願い：

講演申込みならびに講演概要原稿提出は，必ず期限を守って下さい。期限後到着のものは，プログラム編成，



概要集の編集と印刷の作業進行上全く余裕がありませんので、残念ながら受理できません。あらかじめご了承ください。

講演申込カード必着日 5月10日(土)

講演概要原稿必着日 6月10日(火)

「土木学会誌」広告料金改訂について

本学会は大正3年11月創立以来、本年で55周年を迎えることとなります。この間、学会の看板ともいべき「土木学会誌」は、土木技術の進展とともに成長を続け、内容の充実、発行部数の飛躍的増加となつて、学会の主軸となつて発展して参りました。これもひとえに関係各位のご協力の賜と深く感謝いたしております。しかしながら今後よりいっそう誌面の刷新をはかり内容を充実してゆくことは、最近の諸物価の高騰、印刷経費の著しい値上がり、取材費の増大を考えた場合、非常に困難となつて参りました。つきましては利用者各位にはまことに恐縮ですが、44年4月号より4年ぶりに広告料金を下記のとおり改訂いたしますので、よろしくご賢察、ご協力のほどをお願い申し上げます。

1ページあたり広告料金

	表紙2	表紙3	表紙4	後付	後付	色紙	綴込(持込み)
改訂後	70 000	80 000	80 000	1ページ 45 000	半ページ 23 000	50 000	1枚 80 000

* 学会監修出版物は別に規定があり 50 000 円となります。

東名高速道路見学会

◀ 4月19日(土) ▶

待望の東名高速道路は、いよいよ来る5月に全線開通することになりましたので、開通を前に全線を見学する計画をいたしました。とくに今回は東京・名古屋から同時にバスでスタートして、中間で東西両班が交歓することになっています。会員諸兄のご参加をおすすめいたします。

記

見学コース：東名高速道路(東京-名古屋)全線

東京班(下り)と名古屋班・大阪班(上り)富士川付近で昼食交歓

大阪班は前日出発 名神高速道路も併せて見学し、三河三谷温泉1泊、浜名湖で名古屋班に合流します。

定員：東京班 90名(高速バス2台) 満員締切りました。

名古屋班 45名(高速バス1台)

大阪班 45名()

集合：東京班は 4月19日(土) 8時45分 土木学会

名古屋班は 4月19日(土) 8時45分 名古屋駅西広場(新幹線側)

大阪班は 4月18日(金) 14時00分 新大阪駅前

解散：東京班は 4月19日(土) 17時00分 名古屋駅

名古屋班} 4月19日(土) 17時00分 渋谷駅
大阪班}

参加費：東京班は 1500円(東名間バス、昼食代)

名古屋班は 1500円(東名間バス、昼食代)

大阪班は 5000円(名神間バス、三谷温泉1泊、東名間バス、昼食代)

申込：参加費を添えて下記にお申込み下さい。満員になり次第締切ります。

東京班は 満員締切りました。

名古屋班は 土木学会中部支部 460 名古屋市中区三の丸 2-5-1 建設省中部地建企画室内 電(052) 963-6311

大阪班は 土木学会関西支部 537 大阪市東成区中道元町 5-149 電(06) 981-2510

土木学会視聴覚教育委員会選定映画制度について

このたび視聴覚教育委員会では下記趣意書のとおり選定映画制度を設けることになりました。映画の企画・製作を行なっております各社のご協力方よろしく御願ひ申し上げます。

趣意書

最近の技術革新はまことにめざましい。その中であって、きめられた短時日に土木工学に関する広い知識を効率よく教育し、学びとるには、教育工学の技法を大いにとり入れることが必要な時代になって来た。

そのために、さしあたり映画、スライド等を中心とした視聴覚教材の有効な利用をはかるため表記の制度を設けることにした。

現在、各官公庁や民間会社等で工事記録をはじめ、PR映画や企業内訓練用の映画・スライドなど相当数制作されているので、そのなかから教育用や、一般PR用などに適するものを選定し、利用しやすい指針をつくり視聴覚教育の促進を願っている。これによって、より多くの人が技術革新に容易に即応できる体制ができれば幸いである。

土木学会視聴覚教育委員会選定映画制度に関する規定

(目的)

第1条 この制度は、土木学会定款第2章の趣旨に添い、土木工学に関して作られた映画が有効かつ適切に利用されるように選定映画を決めることを目的とする。

(選定映画の決定)

- 第2条 選定映画の決定は、視聴覚教育委員会が行なう。
- (2) 選定映画を決定するためには委員8名以上の出席がなければならない。
 - (3) 決定は出席委員の過半数の賛成を得たものを選定映画とする。

(選定映画の取扱い)

第3条 選定された映画については利用者の便をはかるため委員会が利用指針を作成する。
利用指針は土木学会誌へ掲載する。

(選定の取消し)

第4条 選定された映画に関して他の著作権、特許権の侵害等にふれた場合は選定を取消す。

注：本映画制度についての問合せは土木学会編集課 電話 東京 03 (351) 5130 へ

第10回地震工学研究発表会講演募集

下記により第10回地震工学研究発表会を開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1969年7月15日(火)、16日(水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 募集規定：
 - (1) 講演内容：理論、実験、耐震設計の実測、復旧工事、震害等
 - (2) 申込方法：3月31日(月)までに題目、講演者氏名(連名の場合は登壇者に○印をつける)、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会宛お申込み下さい。
4. 講演概要原稿締切：5月10日(土)厳守
講演概要はオフセット印刷致します。原稿の長さは1題目刷上り4ページ以内(図・表・写真を含み6480字)とし、所定の原稿用紙にタイプまたはスミ書きにして下さい。講演の採否は土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、1講演15分～30分(質問時間を含まず)の予定です。
5. パネル討論：今回は特定なテーマを設けパネル討論を行ないます。

第2回構造用軽量骨材に関するシンポジウム

◀ 4月1日(火) ▶

土木学会コンクリート委員会では下記により標記シンポジウムを開催いたします。現在コンクリート用新材料として脚光を浴びている人工軽量骨材の使用方法を中心に活発な論議を行なうことは、斯界発展のために有意義なものと存じます。ふるってご参集下さるようご案内いたします。

1. 期 日：1969年4月1日(火) 9.00~18.00
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 参加費：無 料
4. 講演概要：当日実費頒布
5. プログラム：

9.00~ 9.05 開会挨拶

コンクリート委員会委員長 国分正胤

(I 軽量骨材の性質)

- 9.05~ 9.20 (1) 人工軽量骨材の吸水特性とコンクリートの性質 鳥取大○西林新蔵・大阪セメント 湯本徹男
 9.20~ 9.35 (2) 人工軽量骨材の破砕試験について 東大生研 小林一輔・○趙 力采・河原俊厚
 9.35~ 9.50 (3) 軽量骨材粒の強度および耐久性 都立大 村田二郎・神山行男
 9.50~10.05 (1)~(3) 討 議

(II (軽量骨材コンクリートの性質))

- 10.05~10.20 (4) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートの諸性質 東大 岡村 甫・○山本泰彦・榎本松司
 10.20~10.35 (5) 軽量コンクリートの諸性質 国鉄技研 樋口芳朗・割沢善雄・西郷勲次郎・○浅沼久志
 10.35~10.50 (6) 軽量骨材コンクリートの加圧によるコンシステンシーの急変とその防止策 東北大○後藤幸正・杉山嘉徳・石母田 豊・小林茂樹
 東大生研○小林一輔・伊藤利治・都立大 村田二郎

- 10.50~11.05 (7) 人工軽量骨材コンクリートの諸性状に及ぼす乾湿の影響 東大生研○小林一輔・伊藤利治・都立大 村田二郎
 11.05~11.25 (4)~(7) 討 議

- 11.25~11.40 (8) クリープの環境湿度依存性について 京大 岡田清・小柳 治・○坂田憲次

- 11.40~11.55 (9) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートのクリープ 東大○岡村 甫・鈴木正治

- 11.55~12.10 (10) 人工軽量骨材コンクリートの圧縮疲労性状 東大生研 小林一輔・○伊藤利治・芝田 憲

- 12.10~12.25 (8)~(10) 討 議

- 12.25~12.40 (11) 人工軽量コンクリートの耐硫酸塩性に関する二、三の考察 鳥取大 西林新蔵・大阪セメント○片岡宏治・三井金属 清水 昭

- 12.40~12.55 (12) 各種人工軽量骨材を用いたコンクリートの凍結融解に対する抵抗性について 法政大○小林正九・東大 高橋正泰

- 12.55~13.05 (11)~(12) 討 議

- 13.05~14.05 昼 食 休 憩

(III 施 工)

- 14.05~14.20 (13) 懸架橋床版の軽量コンクリートに関する研究 道路公団 四本晃光・中村修吾・日本セメント○西岡思郎

- 14.20~14.35 (14) 軽量レデーミクストコンクリートの運搬について 都立大 村田二郎・神山行男

- 14.35~14.50 (15) 鉄道構造物における人工軽量骨材コンクリートの適用 国鉄 尾坂芳夫・鳥居敏郎・○小池 晋

- 14.50~15.05 (13)~(15) 討 議

(IV 軽 量 R C)

- 15.05~15.20 (16) 鉄筋コンクリート短柱の中心軸圧縮試験(普通および人工軽量骨材コンクリートの場合) 京大 六車 照・渡辺史夫

- 15.20~15.35 (17) 人工軽量骨材を用いた鉄筋コンクリートはりの長期耐荷重における曲げ実験 東工大 長滝重義・○米山敏一

- 15.35~15.50 (18) 軽量鉄筋コンクリート桁のせん断強度について 東大 松貝 勇

- 15.50~16.05 (19) 人工軽量骨材を使用した鉄筋コンクリート部材の曲げせん断強度および捩りせん断強度 早大 神山 一

- 16.05~16.25 (16)~(19) 討 議

(V 軽 量 P C)

- 16.25~16.40 (20) 人工軽量骨材を用いたPCけたの定着部の強度と補強方法 中央大 西沢紀昭・日本コンクリート工業 高野昭信

- 16.40~16.55 (21) くり返し高荷重をうける軽量PC単純はりの変形と耐力 京大 六車 照・富永 恵・高矢義忠

- 16.55~17.10 (22) 人工軽量骨材を用いたプレストレストコンクリートけたの疲労強度に関する研究 国鉄 尾坂芳夫・○橋田敏之

- 17.10~17.25 (23) 軽量PC桁の曲げおよびせん断試験 東大 国分正胤・松本嘉司・国鉄 樋口芳朗・割沢善雄・都立大 村田二郎

- 17.25~17.45 (20)~(23) 討 議

- 17.45~17.55 閉 会 挨拶 国分正胤

人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)

内 容：1章 総則／2章 軽量骨材／3章 軽量骨材コンクリートの品質／4章 軽量骨材の取扱い／5章 配合／6章 練りませおよび運搬／7章 コンクリート打ちおよび養生／8章 試験／9章 設計に関する一般事項

付 録：1 骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法／2 軽量粗骨材の浮粒率試験方法／3 構造用軽量細骨材の比重および吸水量試験方法(案)／4 構造用軽量粗骨材の比重および吸水量試験方法(案)

体 裁：B6判 53ページ 定 価：300円 会員特価：250円(〒50)

申 込 先：土木学会 東京都新宿区四谷一丁目

関東支部行事案内

(郵便番号 160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内)
電話 (03) 351-4133

関東支部総会 (第6回通常総会)

◀ 4月26日(土) 15.00~ ▶

1. 場 所: 土木学会 土木図書館講堂
2. 議 題: ① 昭和43年度事業報告および決算報告の承認 ② 昭和44年度事業計画および予算の報告
③ 商議員改選の承認

◎この会告をもって総会開催通知といたします。支部会員多数ご出席下さい。(なお、総会後懇親会を開催いたします)

中部支部行事案内

(郵便番号 460 名古屋市中区三の丸2丁目5番1号
建設省中部地方建設局企画室内 電話 名古屋 962-6311 内線 375)

昭和44年度中部支部総会

◀ 4月26日(土) ▶

1. 日 時: 1969年4月26日(土) 9.30~
2. 場 所: 愛知県中小企業センター 第4会議室 電話 名古屋 561-4121
名古屋市中村区堀内町 4-31 (名古屋駅前)
3. 支部総会:
4. 記念講演:
5. 見学会: 国道21号線 中濃大橋工事
6. 懇親会: 犬山ホテル 17.00より
7. 会 費: 1000円
8. 申 込: 土木学会中部支部へ4月1日までにお申込みのこと。
なお、懇親会出席ご希望の方は会費をそえること。

関西支部行事案内

(郵便番号 537 大阪市東成区中道元町1丁目 149番地
電話 大阪 (06) 981-2510, 振替口座大阪 82599 番)

関西支部年次学術講演会 (昭和44年度)

1. 日 時: 1969年5月11日(日) 9.00~17.00の予定
2. 場 所: 神戸大学工学部 電話神戸 (078) 87-5131 神戸市灘区六甲台町1
国鉄六甲道または阪急電鉄六甲より市バス06六甲台行鶴甲口下車 06六甲ケーブル行教養部前下車
3. 講演題目および講師: 学会誌4月号に掲載します。
4. 講演概要頒布: 論文抄録集(B5版・オフセット印刷)をつぎのとおり頒布いたします(ただし700部限り、申込先着順)。
正会員 200円 学生会員 100円 非会員 300円 送料 100円
講演者(○印) 無料
5. 聴 講: 無料, 来聴歓迎
6. 申込方法: 講演概要希望者は4月19日(土)までに勤務先、連絡先、会員の種別、氏名および講演会に出欠を明記(様式随意)し、上記講演概要代金および送料(前送希望者のみ)を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

(付) テキスト頒布について

関西の土木 100年(支部創立40周年記念出版)	頒価 700円	送料 100円
近畿開発と大型土木プロジェクト	〃 400円	〃 60円
公害振動測定法(案)(騒音・振動委員会編)	〃 無 料	〃 35円
騒音・振動公害	〃 1000円	〃 100円
写真測量とその応用	〃 800円	〃 80円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

第7回接着研究発表会講演募集

1. 主 催：日本接着協会他関連学協会
2. 日 時：1969年6月5日(木)、6日(金)
3. 会 場：東京工業大学講堂
4. 特 別 講 演：2件
5. 研究発表：15分 討論5分
6. 研究発表の内容：接着に関連があるすべての研究
(A)物性 (B)界面現象 (C)合成 (D)接着加工 (E)分析 (F)試験法 (G)その他
7. 申 込 締 切：3月20日(必着)
8. 申 込 方 法：研究発表申込書を送付して下さい(申込書は自作で可、透明コピー用紙に黒インキで書くこと)。申込書は下記の事項を明記。
(A)演題・(B)研究者(氏名、勤務先、住所、電話、発表者に○印)・(C)講演内容(200字程度、目的、方法、結果)・(D)分類(物性、合成、加工など)
9. 講演要旨締切：4月30日
申込者には所定の写真印刷用原稿用紙をお送りします(1480字詰原稿用紙2枚)。
10. 申 込 取 消：プログラム編成に差し支えますので、1日も早くお願いします。
11. 申 込 先：大阪府西区江之子島 大阪府立工業奨励館内 日本接着協会年会係 電 443-1121 内線 280
12. 東 京 連 絡 先：東京都目黒区大岡山 東京工業大学高分子工学科(畑研究室内) 日本接着協会関東支部 電 726-1111 内線 2152

水理学教育技術者のための研究会案内

(EXPERIMENTAL STUDIES IN HYDRAULIC ENGINEERING)

1. 主 催：Asian Institute of Technology
2. 期 日：1969年6月16日~27日
3. 場 所：Bangkok, Thailand
4. 対 称：Engineering educators in hydraulics, hydrology and other water oriented programs.
5. 連 絡 先：Dr. Norbert L. Ackermann
Chairman of Hydraulic Engineering of AIT
Henri Dunant Street
Bangkok 5, Thailand

橋

1967—1968 土木学会田中賞設立を機会にわが土木界に始めて誕生した橋に関する美しい年報ができました。

定 価 1500円
ほかに送料 150円

編 集 土木学会橋梁構造委員会橋梁年報編集小委員会
発 行 社団法人土木学会
体 裁 A4判 82ページ/一部カラー刷
内 容 本州四国連絡橋技術調査報告書の概要/福島第1高架橋/名護屋大橋<以上受賞作品の紹介>/鋼橋10橋の紹介/コンクリート橋6橋の紹介/1967年竣工主要橋梁一覧/田中賞受賞論文の紹介/田中賞選考経過

代金に送料を添えて
新宿区四谷1丁目・
土木学会刊行物係へ
申込んで下さい